



## 比布町「ゼロカーボンシティ」宣言

～ 二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して ～

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で記録的な高温、大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が多発しています。日本においても、過去に経験したことがないような集中豪雨や猛暑等が頻発しており、今後さらに災害等のリスクが高まると予測されています。また、気候の変動は、四季折々の豊かな風土にも影響を与えかねません。

2018年に公表された IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされています。

日本においては、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月には地球温暖化対策推進本部にて2030年度までの温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%削減することが発表されました。

このような中、比布町においても、先人より受け継がれてきたふるさと比布の自然と文化を100年後の未来に引き継ぎ、また、その思いを未来に生きる子どもたちにも受け継いでいくため、町民・事業者・町が協働して脱炭素に積極的に取り組むことが不可欠です。

比布町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和4（2022）年3月7日

比布町長 村中一徳